第2回阪奈和小児がん連携施設連絡会症例検討会

資料１－３

　日時：平成２８年１１月２６日（土）１３時３０分～１６時３０分

　場所：大阪市立総合医療センター　３階　大会議室

　テーマ：造血器腫瘍

1. 寛解導入開始時に多発性脳内出血を生じたT細胞性急性リンパ性白血病の１例

大阪市立総合医療センター　小児血液腫瘍科　中村さやか

1. けいれん重積にて受診したPh1-ALL症例の今後の治療について

大阪赤十字病院　藤野寿典

1. 形態的に2系統の芽球を認めたSIL/TAL1陽性T-ALLの1例

大阪市立大学小児科　田部井茉耶

1. 治療中の再発に対して腫瘍摘出術およびHLA半合致末梢血幹細胞移植を施行した、胚細胞性腫瘍合併急性骨髄性白血病の1例

大阪府立母子保健総合医療センター　血液•腫瘍科　中西達郎

1. EBV初感染後6か月で中枢神経原発リンパ腫を発症し，X連鎖リンパ増殖症の診断に至った19歳例

　　近畿大学小児科　坂田尚己

次回予定

第3回阪奈和小児がん連携施設連絡会症例検討会

　日時：平成２９年１月１４日（土）１３時３０分～１６時３０分

　場所：都島センタービル　５階　第３会議室

　テーマ：固形腫瘍

演題締め切り：１月１０日